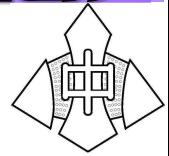


手をたずさえて

“小原田PRIDE”～自信と誇り

- 心身ともに健康で明朗な生徒
- 自主的に学習する生徒
- 責任を重んじ協調性のある生徒



令和3年4月7日(水)発行

【発行責任者】郡山市立小原田中学校長 熊坂 洋

総勢32名の令和3年度小原田中教職員です!

先にお知らせしましたとおり、令和3年度は、8名の教職員が転入及び職務復帰し、総勢32名からなる新たな教職員組織で学校が動き出しました。このような状況だからこそ、「生徒の最大の教育環境は我々“教師”である」という認識をもち、教職員の協力体制を大切にしながら、学校としての一体感を作り上げていきたいと考えています。よろしくお願いいたします。

No	役職等	氏名	担当教科、部活動等	No	役職等	氏名	担当教科、部活動等
1	校長	熊坂 洋		第3学年			
2	教頭	荒川 直也	1・2年技術	15	主任	小林 桂子	3年国語、吹奏楽
3	教務主任	伊藤 信孝	1・3年社会、女子テニス	16	1組担任	加藤喜代子	全音楽、吹奏楽
第1学年				17	2組担任	浅野 稔	3年英語、野球
4	主任	結城 浩明	全保体、サッカー	18	3組担任	橋本まゆみ	全保体、バレー
5	1組担任	高原 明美	1年数学、パソコン	19	副担任	鈴木 秀希	3年数学・技術、剣道
6	2組担任	酒井 理恵	1年英語、バレー・剣道	20	友垣1	佐藤 文恵	特別支援教育、美術
7	3組担任	栗原 洋美	1年国語、男女卓球	21	友垣2	上遠野恵美	特別支援教育、全家庭、女子卓球
8	副担任	酒井 宏美	1・3年理科、サッカー	22	主査	安部 勇士	
第2学年				23	養護教諭	合津 恵	
9	主任	石井 倫明	全美術、男子卓球	24	学校司書	鈴木 幹子	
10	1組担任	小川 栄樹	2年理科、男子テニス	25	用務員	古田 康英	
11	2組担任	小森裕貴子	2年英語、男女テニス	26	特別支援教育補助員	佐久間恵子	
12	3組担任	伊藤 久恵	2年国語、男子バスケ	27	特別支援教育補助員	安相 静	
13	4組担任	影山 暁	1・2年社会、女子バスケ	28	S T	青木 勝夫	
14	副担任	二宮 太郎	2年数学、男女バスケ	29	A E T	スティーブン・マーシャル	
				30	S C	長谷川美奈	
				31	配膳員	※現在調整中	
				32	待機配膳員	矢吹 瞳	

気を緩めることなく 感染症対策の徹底を!!

新型コロナウイルス感染の収束は未だ見えず、本市においてもクラスターが発生するなど予断を許さない状況が続いています。感染症対策も長期化し、おそろかになってしまう傾向も見られます。学校生活が再開する今、手綱(たずな)をしめ直す必要があります。ここで再確認しておきます。

①毎朝の検温、健康観察(「健康観察記録表」の記入・提出)、②手洗い・うがい、手指消毒の徹底、③こまめな換気、④3密の回避など、学校で取り組んできた感染症対策を継続していきます。右の『生活のしかた』についても改訂版を作成しました。生活ノート「自分に打ちかて」の中にも入れたので、各自確認をし、自分の行動をチェックしてください。また、本日、保護者宛の文書「新型コロナウイルス感染症対策について」を配付しました。特に家庭や校外における基本的な感染症対策について、生徒のみんなもよく読んで、正しい行動をとってほしいと思います。



生活のしかた ~新型コロナウイルス感染症対策~

登校前	<input type="checkbox"/> 朝の検温、咳症状の確認を行い、「健康観察記録表」に記入する。保護者のサイン(押印)をもらう。 <input type="checkbox"/> 発熱がある場合は、自宅休養する。保護者に学校に連絡してもらう。
登校時	<input type="checkbox"/> 交差ルールを守り、8:05までに昇降口を通過する。 <input type="checkbox"/> 手指消毒、手洗い・うがいをして教室に入る。
登校後 朝の時間	<input type="checkbox"/> マスクを着用する。 <input type="checkbox"/> 「健康観察記録表」を提出する。検温を忘れた場合は学校で検温する。 <input type="checkbox"/> 教室の換気をする。(廊下側の出入口と校庭側の窓を空ける。サーキュレーターを上手に活用する)
授業	<input type="checkbox"/> 授業では、マスクを着用し、感染リスクに配慮しながら活動する。(保健体育の実技等については、マスクをはずす) <input type="checkbox"/> 授業中も換気を行う場合がある。 <input type="checkbox"/> 実習や実習、実技の授業では、活動の前には手洗いを行う。 <input type="checkbox"/> 先生の指示にしたがって学習を進める。
休み時間	<input type="checkbox"/> 休み時間には必ず換気を行う。(廊下側の出入口と校庭側の窓を空ける) <input type="checkbox"/> 特別教室や体育の授業から教室に戻るときは、手洗い・うがいを行う。 <input type="checkbox"/> トイレの壁にも手洗いをを行う。 <input type="checkbox"/> 物中継手筋のため、こまめに水分補給する。
給食時	<input type="checkbox"/> 給食の配膳前、食事前には手洗いをを行う。 <input type="checkbox"/> 乳を向かい合わせにせず、会話を控えながら食事をとる。
昼休み	<input type="checkbox"/> 休み時間には必ず換気を行う。(廊下側の出入口と校庭側の窓を空ける)
清掃	<input type="checkbox"/> 戸や窓を開けるとともに、自問清掃に取り組み。 <input type="checkbox"/> 清掃終了後には、手洗い・うがいを行う。
知事活	<input type="checkbox"/> 1日を振り返り、明日の準備を『自分に打ちかて』に記入する。
部活動	<input type="checkbox"/> 顧問・担当の先生の指示に従いながら活動する。 <input type="checkbox"/> 時間を有効に使い、効率的に集中して活動する。 <input type="checkbox"/> 下校時間を厳守し、寄り道をせずに真っ直ぐ帰宅する。交通事故には十分注意する。
帰宅後	<input type="checkbox"/> 帰宅後、消毒・手洗い・うがいを必ず行う。 <input type="checkbox"/> 整いや整いに行く場合も、マスクの着用・消毒・手洗い等の感染症対策を確実に行う。 <input type="checkbox"/> 不要不急の外出はできるだけ避ける。

“心の鏡”～自分で自分をほめたい～

小原田中は60年目を迎えます。2年生は今日から先輩と呼ばれる立場になり、3年生は最上級生として、学校を引っ張っていく立場になります。年度のスタートにあたり、今日は『心の鏡』という話をします。

人はみな『心の鏡』を持っています。自分自身の心の中にある鏡で、自分自身を映し出してみてください。今の自分の姿はどのように映りますか？

いい顔をしていますか？ きらりと輝いていますか？

沈んだ暗い顔にはなっていませんか？

後悔したくないので全力を尽くした自分を自分でほめたい

1992年に開催されたバルセロナ・オリンピックの女子マラソン競技において、劇的なドラマを演じて銀メダルを獲得し、その4年後の1996年のアトランタ・オリンピックで汗と涙の銅メダルに輝いた有森裕子(ありもり ゆうこ)さんの言葉です。

この言葉は、まさに頑張って、頑張って、頑張りを尽くした後に出てきた彼女の心の叫びそのものでした。有森選手が歯を食いしばり、ありったけの力を出しきってゴールテープを切ったとき、当時テレビに釘付けになっていた日本国民は、「よくやった！有森」と言って大きな拍手をおくりました。



きみたちには、ここで「自分をつくる責任者は自分しかない」ということを知ってほしいのです。

自分という人間は世界にはたった一人しかいません。どこを探しても自分は自分一人しかいないのです。有森さんは、自分自身との戦いの連続の中で、マラソン選手として自分で自分を鍛え上げたのです。そして、有森さんの『心の鏡』には、精一杯努力し、充実感に満ち溢れた自分の姿が映し出されたのだと思います。だからこそ、「自分を自分でほめたい」という言葉が自然と口から出たのでしょう。

自分の心の鏡に、真っ直ぐな気持ちで、本気になって物事に取り組んでいる自分、失敗してもチャレンジしている自分、他を思いやり、他に尽くしている自分、そんな姿が映ったら、自分をたくさん褒めてください。自分に自信をもってください。

しかし、逆に、なまけようとしている自分、楽をしようとしている自分、ごまかそうとしている自分、逃げようとしている自分、弱い者いじめをする自分、そんな姿が映ったとしたら、本当にこの姿でいいのかと自分に問いかけ、修正してほしい。そして、自分の弱さを乗り越え克服してほしい。

年度始めのこの節目に、今の自分の『心の鏡』を見つめほしい。「自分をつくる責任者は自分しかない」という自覚の下、自分を、自分が、自分の手で育てあげ、いつか自分自身をほめてあげることのできる時がやって来ることを願っています。

終わりになりますが、84名の新入生についてです。きみたちも経験して分かると思いますが、新入生は不安と期待で胸がいっぱいだと思います。どちらかという不安のほうが大きいかもしれません。きみたちには、新入生たちを温かく迎え入れてほしいと思います。そして、様々な面でよき見本、よき先輩であってほしいと思います。

～ 令和3年度第1学期始業式 校長式辞より ～

今年度は、本校の教育理念に『小原田プライド』という言葉掲げます。様々な大会やコンクール等において上位入賞することだけが『小原田プライド』につながるわけではありません。『小原田プライド』の基本にあるのは、「相手に伝わる挨拶ができる」、「手を抜かずに清掃に取り組む」、「授業を真剣に受ける」、「善悪の判断をしっかりとつけ正しい行動ができる」、そして、「他を思いやることができる」など、規律ある安定した生活であるということです。これらの基本ができていれば、例え成績や結果が伴わなくとも、その人や集団は周囲の人々により、心から讃えられる存在になれるのではないのでしょうか。

『小原田プライド』の旗を高く掲げ、今年度のスタートをきりたいと思います。

